

令和5年度 第3回上落合小学校 学校運営協議会 議事録

○日時:2月16日(金) 10:30~13:10

○場 所:上落合小学校 校長室

○次 第:

- 【第1部】
- 1 校長挨拶
 - 2 開会宣言(会長)
 - 3 学校より(R5学校運営、R6学校運営方針について 等)
 - 4 意見の申出
 - 5 事務連絡
 - 6 閉会宣言(会長) ※学校給食用物資納入選定委員会
- 【第2部】
- 7 1年生との交流給食(1年生の教室)



令和5年度の学校運営について

→:学校運営協議会委員の意見

- リフレッシュ改修工事に対応した適正な教育活動の充実
- ・担当課や工事業者と毎週打合せを行うとともに、その内容を教職員へ周知することで、大きな事故無く教育活動を行うことができた。
- 担当課等と事前にしっかりとヒアリングを行うことが大切である。
- ・現在も、給食室等の工事について、学校側の要望を伝え、対応していただいている。今後も、当事者意識をもち、改修工事にかかわる。
- 児童の生き生きとした教育活動を支援するための迅速かつ組織的な対応
- ・問題を覚知した際、直ぐに対応し、児童が下校するまでに保護者へ連絡する対応を行った。
- 心の不安定さは自己肯定感の低さにつながるので、子どもたちの自己肯定感を向上できるように、地域でも協力したい。
- チャレンジスクールに参加している児童は生き生きと活動している。できることをサポートしたい。
- 若い教員が増えている。生徒指導上の問題には「チーム」として対応するとともに、若手教員の技量を高める研修が必要である。

令和5年度の学校運営について

→:学校運営業議会委員の意見

- 児童の生き生きとした教育活動を支援するための迅速かつ組織的な対応
 - ・昨年度に引き続き、あいさつを励行している。今年度は、児童会とPTAが連携した「あいさつ運動」を実施することができた。

- 不審者の問題があり、児童は知らない人にあいさつをしづらいようである。育成会の見守りボランティアにはサコッシュを配付し、身に付けてもらうことで、「地域の人」ということが視覚的に分かるようにしている。
- 中学校でも、校内のあいさつできるが、地域へのあいさつができないことが課題である。中学生をボランティアとして地域の活動や行事に呼んでもらい、ボランティア活動を通して、地域の人を知る機会としている。
- 中学校では、ボランティア活動を通して、コミュニケーション能力を高め、自己肯定感の向上も図っている。



令和6年度の学校運営方針について

→:学校運営業議会委員の意見

- 児童会主体でPTAとの連携を図ったあいさつ運動の推進

- 中学校と小学校が連携して、あいさつができる子どもを育成したい。
- 気持ちのよいあいさつをする中学生がおり、理由を聞いたら「毎朝立哨していただいて、僕たちの安全を見守ってくださっているから」という答えが返ってきて驚いた。多くの子どもたちがこのような気持ちになれるよう、取組ができればよい。

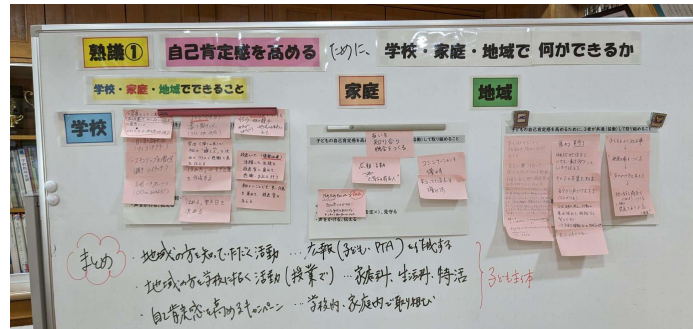
- PTAと学校運営協議会、青少年育成会、自治会等との積極的な連携

- 後援会も加わり、地域の子どもたちを育成したい。
- マンションのシニアクラブで、児童の下校の見守り活動を行っている。今後も、児童の安全のため活動したい。地域で子どもを育てていきたい。

- 令和6年度 年間行事計画について

- 引渡し訓練については、下落合小とも連携し、小中合同で行うとよいのではないかと。
- 効果的な訓練方法について、避難所運営の視点からも考えるとよい。

今年度の熟議の振り返り



【共通すること】

褒める、認める、見守る、声をかける、伝える → 互いがかかわる・互いを知ることが必要。

→ 自己肯定感を高める取組について、学校と家庭両者でできる内容を検討する。

(児童主体の活動、児童会発信の活動等で)

→ 地域、保護者と子どもが関わる活動を行う。

→ 次年度も引き続き、生活科や家庭科、児童会活動、委員会活動等において実施予定。

3学期の学校の様子等

●さいたま市スクール・ダッシュボードの運用開始(動画視聴)

- ・2月13日(火)よりテスト運用開始
- ・児童タブレットを使って、健康や授業等のアンケートに答える



●「Solaるむ」について

- ・登校しているが教室に入れない児童が落ち着ける居場所、自分に合ったペースで学習・生活できる場所づくり

●令和5年度コミュニティ・スクールに関わるアンケート調査のお願い

●さいたま市の児童生徒が主役でつくる「未来くるFM放送局」(放送委員会)

- ・REDS WAVE 87.3FMにて、3月31日に放送。

●本日の給食の説明(動画視聴)と、1年生との交流給食(第2部)

- ・家庭科の1食分の献立作成の学習で学んだ知識を活かし、6年生が考えた献立

※閉会后、学校給食用納品業者選定委員会を開催。

